

2025年度 全ブロック共催 新SC経営士 歓迎イベント開催報告

株式会社アトレ
開発企画部 田部井 貴之
(関東・甲信越ブロック 運営委員)

全国で活躍する約830名（2025年4月時点）のSC経営士に加え、昨年度、新たに第33期のSC経営士43名が仲間に加わりました。本年6月、SC経営士会 全ブロックの共催により、実会場での参加とオンライン（Zoom）視聴を組み合わせたハイブリッド方式にて、新SC経営士の皆様の歓迎イベントを開催いたしました。

第1部では、第一線でご活躍されている（株）リトリーブ 代表取締役社長 丸山 朗氏と、取締役 副社長 羽田 つかさ氏を迎えて、「あ、ワクワクする食の未来へ。～SCにおける食の未来を考える～」をテーマにご講演いただきました。

第2部では、事前に提出していただいたプロフィールシートをもとに、ご参加いただいた新SC経営士の方々をご紹介しながら、皆様の活発な交流・意見交換の場を設けました。

さらに、歓迎イベント終了後は、懇親会も開催いたしました。全ブロック共催という事もあり、様々なエリアの経営士の皆さんと楽しく、有意義な情報交換の場となりました。最後は参加者全員で万歳で会を締め、経営士同士の連携を更に深める事ができました。

1. 開催期日 2025年6月13日（金）

2. 開催場所

- (1) 講演、新SC経営士との交流・意見交換：日本ショッピングセンター協会 大会議室
※ オンライン参加併用
- (2) 懇親会：Asian Dining & Bar SAPANA 水道橋店

3. 開催内容

【第1部】 講演（60分）

- (1) 講師：(株)リトリーブ
代表取締役社長 丸山 朗 様
取締役 副社長 羽田 つかさ 様
- (2) テーマ： *さあ、ワクワクする食の未来へ。*



【第1部】丸山社長による講演

【第2部】 新SC経営士との交流・意見交換（75分）

- (1) 内容：プロフィールシートをもとにインタビューを実施。
記載されたトピックスをネタに、新SC経営士の人となりを紹介。
- (2) ナビゲーター：蓮池 美砂絵氏、吉田 広美氏
(SC経営士会 関東・甲信越ブロック 副ブロック長)



【第2部】新SC経営士との交流・意見交換

4. 参加者数

- (1) イベント参加者数
 - ・全体参加者：110名
(うち、新SC経営士 20名、SC経営士以外の方 22名)
 - ・会場：43名
 - ・オンライン：約67名
- (2) 懇親会参加者数 45名



懇親会のようす

「北星学園大学／特別講演（北海道ブロック・コラボ講座）」

6月23日に札幌駅総合開発㈱の松井歩販売促進部長（13期）が、2018年度よりスタートした北海道ブロックと北星学園大学（経営学部 経済情報学科／鈴木克典教授）とのコラボ講座に2025年度前期の講師として登壇いたしました。

コラボ講座は今年度で8年目となり、この間に北海道ブロックメンバーが順次講師となって、学生にSC業界を知っていただき興味を持っていただく取り組みを行ってきた結果、近年は同大学からSC業界に入社される方が増え、SC協会北海道支部会員企業からもこの取り組みが評価されるところとなり、また、同大学からも同様の評価いただく中で、2025年3月に大学としては全国で2番目となるSC協会への入会がなされました。

今回のコラボ講座は入会後最初となる講演でしたので、講師の松井さんは同大学が北海道内で「地域連携」に取り組んでいることを踏まえ、「ショッピングセンターと地域との関係性＝札幌市中心部から見えてくるもの」をテーマに、札幌駅JRタワーにおける事例などを参考にSCの定義や百貨店などの小売業との違いや、SCビジネスの特徴、SCの地域とのかかわりなどを丁寧に分かりやすく100分講演され、67名の学生が熱心に聴講されました。

講演終了後は場所を新さっぽろに移し、同大学の鈴木教授と聴講した北海道ブロックメンバーが講師の松井さんを囲み、「棒餃子」と「サッポロクラシック生」で講演会の振り返りを行い盛り上りました。



【新任ブロック長ご紹介】猪原近畿ブロック長

JR西日本大阪開発株式会社 常務取締役 企画室長 兼 うめきた事業本部副本部長 兼 エスト事業部長

●ご挨拶

この度、縁あって近畿ブロック長をさせていただくことになりました第17期SC経営士資格取得の猪原です。現在、私はJR西日本大阪開発株式会社に在籍し、既存のSC「梅田エスト」「バルチカ03」「うめきたグリーンプレイス」の管理・運営並びにJR大阪駅西口改札前エリアでの新規SC開発の仕事をしております。

これまでSC経営士としての活動は、SC協会主催セミナーの講師を数回程度務めたくらいで大して何もして来ておりません。「こんな私がブロック長?」で不安がいっぱいですが、先輩諸氏に教えを請いつつ、最近増加している若い企業内経営士の方々の意見も聞きながら、頑張って活動して参りたいと思います。

今年の関西は、都心最後の一等地と言われたうめきたII期エリアが「グラングリーン大阪」として開業し、また、愛知の「愛・地球博」以来20年振りの国際博覧会となる「大阪・関西万博」が開かれるなど、見どころ満載です。7月18日(金)には、グラングリーン大阪の開発経緯や街づくりコンセプト等に関する講演並びに館内視察を行う「夏の例会」も開催されます。例会で一人でも多くの経営士の皆さんに御挨拶することから始めたいと思います。どうかよろしくお願ひいたします。



●プロフィール

1964年 大阪府大阪市生まれ。

1990年 西日本旅客鉄道(株)入社。

1997年 広島ステーションビル(株)(現中国SC開発(株))に出向、「ひろしま駅ビル」→「アッセ」への開業以来35年振りとなる全館リニューアルを担当。

2000年 天王寺ターミナルビル(株)(現JR西日本SC開発(株))に出向、「天王寺ミオ」の管理運営に従事。

2011年 同社にて、別会社が運営していた隣接の「ステーションプラザてんのうじ」を合併、両館を統一化するリニューアルの計画、実施を担当。

2015年 JR西日本大阪開発(株)に出向、吹田グリーンプレイスの開発を担当。翌年6月にI期エリアオープン、2018年にII期エリアをオープン。

2019年 同社にて、高架下SC「梅田エスト」の1/3に当たる物販エリアを飲食に変更するリニューアルの計画、実施を担当。2020年2月「エストフードホール」オープン。

2021年 同社にて、大阪駅西エリア開発の一環として「バルチカ03」「うめきたグリーンプレイス」の開発を担当。2024年7月「バルチカ03」、2025年3月に「うめきたグリーンプレイス」をオープン。

●当社のSC経営士 7人衆

「ルクア」を運営しているJR西日本SC開発(株)とよく間違われますが、当社はJR西日本大阪開発(株)。「ルクア」以外の大阪・梅田・周辺の中小規模のSCを開発・運営する会社です。具体的には、JR大阪駅高架下「梅田エスト」、JR住道駅高架下「アルビ住道」、吹田市中「吹田グリーンプレイス」に加えて、昨年新たに3施設「バルチカ03」(2024年7月開業)「うめきたグリーンプレイス」「弁天町駅高架下」(共に2025年3月開業)をオープンし、現在計6つのSCを計38人の役員・社員(うち、SC経営士が7人)で管理・運営しております。

各施設の具体的な内容等について質問がございましたら、当社のSC経営士7人衆にお気軽にご連絡ください。



写真左から 名前・事業部(担当物件)

佐々木 麻樹	エスト事業部兼企画室(エスト)
今治 加奈子	うめきた事業本部兼開発推進部(バルチカ03、うめきたグリーンプレイス)
中本 裕士	LS事業部(吹田グリーンプレイス、アルビ住道、弁天町駅高架下)
岡本 裕次	うめきた事業本部兼企画室(全施設、新規開発)
芦田 直也	うめきた事業本部兼開発推進部(バルチカ03、うめきたグリーンプレイス)
柴田 茂樹	LS事業部(吹田グリーンプレイス、アルビ住道、弁天町駅高架下)
猪原 正嗣	企画室兼うめきた事業本部兼エスト事業部(全施設、新規開発)



【梅田エスト】



【バルチカ03】



【うめきたグリーンプレイス】



【アルビ住道】



【吹田グリーンプレイス】



【弁天町駅高架下開発】

SC経営士交流サークル（仮称）未来くるSC連絡会 活動の紹介

ミラクル 渋谷スクランブルスクエア(株) 岩本 拓磨(27期)

皆さん、お疲れ様です！渋谷スクランブルスクエアの岩本です！

前号でもご案内のスペースをいただいた交流サークル『（仮称）未来くるSC連絡会』ですが、掲載後すぐに反響をいただき登録者が100名を超えるました！（経営士全体が約850名と考えるとまだ12%ほどですが…）

まだ登録されていない方の中では、そもそも『（仮称）未来くるSC連絡会』って何なの？何のためのLINEグループなの？っていうかいつまで（仮称）付いてるの？などなど、様々な疑問があるかもしれません。

今日は、そもそもどのようなLINEグループで、どんな内容のチャットが飛び交っているのか、ほんの少しになりますが紹介できればと思います！

『（仮称）未来くるSC連絡会』は、LINEのオープンチャットで、SCに関する情報交換やQ&A、勉強会や飲み会の企画など様々なコミュニケーションが生まれているプラットフォームです！

オープンチャットですので、ご自身のプライベートのLINE IDと連携することなく参加が可能で、かつ外部非公開のチャットなので、安全に参加ができます！

また、登録はSC経営士のみの承認制チャットとなっているので、ここでの情報やコミュニケーションはSC経営士のみの独り占めとなります！笑

過去には、メーター資産区分の持ち方や電子契約書の導入について、その他にも社内SC経営士を増やすためのアイデア募集や施設視察情報の共有等、幅広なテーマでチャットが飛び交っています。

全国様々な商業施設がある中で、直接の情報交換が物理的にも難しい部分はありますが、このオープンチャットでは全国の皆様と繋がり、気軽に情報交換できるのがメリットです！

気になった方や興味を持っていただいた方いらっしゃいましたら、下記2次元コードからご参加ください！

（お名前・合格期・社名・ご紹介者を入力いただき、確認後、入室となります。）

その他にもご不明点等ありましたら、ご遠慮なさらず下記運営メンバーにご相談くださいませ！

皆さんのご参加をお待ちしております！

＜運営メンバー＞（50音順）

石川（29期・イオンモール株）

ishikawan@aeonmall.com

岩本（27期・東急株）渋谷スクランブルスクエア(株)

takuma.iwamoto@scsq.co.jp

小松（32期・三井不動産商業マネジメント株）

hidemasa-komatsu@mf-shogyo.co.jp

中川（31期・株）東急モールズデベロップメント

nana.nakagawa@tokyu-tmd.co.jp

中山（22期・株）トリニティーズ

ryo@try-z.jp

皆川（32期・株）小田急SCディベロップメント

keita.minakawa@odakyu-scd.co.jp

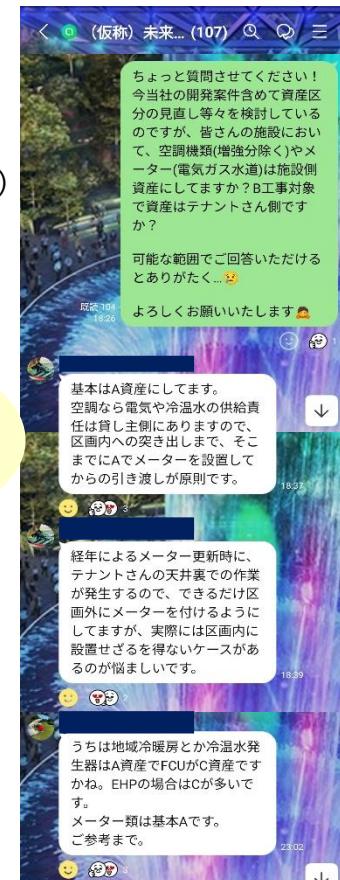
吉田（27期・三井不動産商業マネジメント株）

takeshi-yoshida@mf-shogyo.co.jp

今秋
ひさびさの
OFF会も企画中



こちらの2次元コード
からご参加ください！



実際のチャット画面



2025年度前期 国士館大学 経営学部
(一社)日本ショッピングセンター協会 冠講座



2025年6月27日
東日本旅客鉄道(株) マーケティング本部
まちづの部門 開発戦略ユニット
永富 宣治

■SC開発という仕事の「3つの側面」

■2025年6月27日（金）12:55-14:25

■国士館大学 世田谷キャンパス メイプルセンチュリーホール4階

日本SC協会の冠講座は、2018年度から担当させて頂いており、今回で7校目となりました。

SC業界に関する知識がない学生さんに分かりやすく、興味を持ってもらえるような講義をするためにはどうしたら良いか、毎回考えさせられます。その意味では、自分の頭の中を交通整理する機会にもなっていて、学生さんと向こうう貴重な機会を頂いておりますこと、感謝申し上げます。

今回は、国士館大学経営学部に出向いて「SC新規開発について」講義をさせてきましたが、講義後に、学生さんから39の質問を頂戴しましたので、質疑のやり取りを一部ご紹介させて頂きます。

※時間の関係で、講義時間中には全ての質問に回答できなかったので、後日、全ての質問に対して回答しています。

Q : SCは行くだけでも楽しいが、行くだけの人に購買意欲を沸き立てることはするのか？

A : 「お買い物する気がなかった」人を「買う気にさせる」仕掛けは大切です。例えば、SCの滞在時間を延ばす仕掛けをすると「お腹が空いた」「喉が渇いた」ということにもなりますし、SCをウロウロしていたら「これいいじゃん！」という出会いが消費行動に繋がることもあります。

だからこそ、お買い物を目的としない人でも、足を運んでみようと思わせるSCを作ることは本当に重要な視点です。

Q : SC開発で失敗談あれば、改善策含めて教えてほしい。

A : 正直に言うと、25年も仕事をしていれば失敗談はたくさんあります。僕が「失敗したな」と思ったときには、以下の2つです。

①失敗したという事実を、隠したり、小さく見せたりせずに、早く正しく報告する。

②どんな改善策（リカバリー）を講じると効果的だったのか、もしくは効果がなかったのかについて、可視化して記録に残す。

僕は、アメリカの国務長官だったコリン・パウエル氏のコメントを大事にしています。「隠してもダメ、小さく見せかけてもダメ、迂回してもダメ、やわらげてもダメ、他人のせいにしてもダメ。実効のある修正を行うのみである。」

Q : 空間デザインはどのように考えていくのか？

A : デザインは感性に頼る面もありますが、単なる好き嫌いや、一部の偏った意見だけを取り入れると、みんなに共感してもらえるような「良いもの」にはなりません。

自分が「良いな」と思う空間やデザインは、「なぜ良いと感じたのか？」ということを因数分解して、言語化や可視化するように努めます。そうすると「良い」空間やデザインの構成要素を、みんなで議論することができるようになります。空間デザインの「良さ」が伝わる「伝え方」を表現できているかどうか、が大事なポイントだと思っています。

Q : 今まで最も苦労を感じた経験についてお聞きしたい。

A : あえて1つだけ挙げるとすると、海外のプロジェクトで「ないないづくし」を経験したことです。例えば、台湾で不動産開発を担当したときは、中国語が「分からぬ」／専門用語が分かぬ通訳が「居ない」／現地の法律、ルール、商習慣を「知らない」／日本の常識が「通じない」／想定外のトラブル続きで「落ち着かない」／誰に聞いたらいいか「分からぬ」／どうなってるんだ！と怒られても「どうしようもない」という「ないないづくし」でした。

一時は途方に暮れましたが、待ちの姿勢では状況が好転しないのが目に見えていたので、人を伝って、いろんな方に会うことから始めました。信頼できる人は、信頼できるネットワークを紹介してくれますし、困っていたら、手を差し伸べてくれる人は居るものです。

「人に助けられるとはこういうことか」という、感謝と実感が入り混じった心境になったことを忘れることがありません。

■商業施設における空間規則

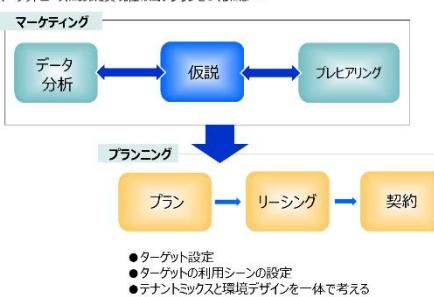
50



■開発ストーリーの精度を上げる

53

マーケットニーズにあった実現性の高いプランをつくるには…



SCと競馬と人生と 「今年も・・・新たな出会い」

業務広報G・中山（22期）です。

このコラムも気づけば2年。今年も新しい馬との出会いの季節です！1年を馬のサイクルで感じるSC経営士です(笑)6月に北海道・ノーザンファーム等で1歳馬の募集があり、500人で見に行ってきました。G1馬だといいなあ…。

今年は3頭へ申し込んでいます。黒光りする彼女は父がジャパンカップを制したスワーヴリチャードの牝馬。スピードのある走りに大いに期待が持てる世界的名血です。

出資馬掲載につき、社台／サンデー／G1サラブレッドクラブ許可済



今月の一コマ SC協会総会@ニューオータニ

5月に実施された総会で、私が長くコンサルしている「マーサ21」さんが地域貢献賞に選出されました。目標にしていたので、格別な気分で最高でした！！！

コラム寄稿 大募集！

この【THE CIRCLE】にコラムを寄稿して下さる方を募集しています。

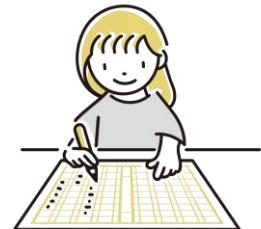
単発・連載、どちらでもOKです。

自社ネタ、個人ネタ、どちらでもOKです。

ひとりで、グループで、有志メンバーで、いずれもOKです。

ぜひお気軽にお問い合わせ下さい！

皆様のご寄稿をお待ちしております！



【編集後記】

酷暑のなか、皆さまいかがお過ごしでしょうか。リトリーブ、丸山社長・羽田副社長ご登壇のトピックスを拝見しました。20年近く前になりますが、「たまプラーザテラス」の開発で日夜お二人よりご指南いただきながら、テナントリーシングを進めていた当時を思い起こし、変わらぬ志と先見性で業界を牽引されている姿に、頭の下がる思いです。

さて、我々の業界から我が国、そして世界に目を向けると、世界の人口は現在の80億人から、近い将来100億人に達すると言われ、食料危機の課題が後進国から顕在化し、世界的な格差は深刻なものとなっています。一方で、我が国では飽食の時代と言われていたところ、高齢化・少子化・人口減少といった社会構造の変化が急速に進み、昨今のコメ問題にみられるように、思わぬところで需給バランスに歪が生じ、影響が拡大していることは、みなさまご高承の通りかと思います。

こうした食のサステナビリティを再考することに加え、人と人をつなぎ、地域の文化や価値観を育むエンターテイメント性と安全性の両立、そして次世代を担う子どもたちへの食育の重要性も、ますます高まっているところです。

SCにおける食の重要性が注目されて久しく、社会インフラとして、地域との共創や持続可能な社会づくりへの貢献が求められているわけですが、地域住民とのエンゲージメントを深め、出店企業や協力先との協働を通じてこうした課題にも向かいながら、安心して楽しめる空間を提供することもまた、我々SC経営士に期待されていることではと、改めて思うところです。

今回も最後までおつきあいいただき、ありがとうございました。

◆所属先・部署・役職に変更がありましたらお知らせください。

◆「SC経営士ニュース」に対するご意見・ご感想は、こちらにお願いします。

SC経営士会 業務広報グループ
田部井（17期）

ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp

SC協会 SC経営士会事務局
sckeieishikai@jcsc.or.jp



担当：今井（16期）